

社会資本総合整備計画 事後評価書														令和03年06月16日		
計画の名称	住環境・街並み環境の向上(地域住宅計画(市川市地域))二期															
計画の期間	平成28年度 ~ 令和02年度 (5年間)												重点配分対象の該当			
交付対象	市川市															
計画の目標	既存ストックの適切な管理と街並みの魅力増進を通じて良好な住環境の発展を図る。															
全体事業費（百万円）		合計（A + B + C + D）		504	A	445	B	0	C	59	D	0	効果促進事業費の割合 C / （A + B + C + D）		11.7	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		（H28当初）	（H30末）	（H32末）
1	良質な市営住宅の確保（老朽市営住宅の改修率の増加）			
	老朽化した市営住宅の改修の割合 ＝（改修市営住宅棟数）／（要改修市営住宅棟数）	0（％）	（％）	65（％）
2	中山参道沿道の修景実施率の向上			
	中山参道（事業区域内）延長に対する民間建築物等の修景実施済延長の割合 ＝（中山参道沿道のうち、修景済建築物等の延長）／（中山参道（事業区域内）の延長）	29（％）	（％）	37（％）
3	狭あい道路の解消			
	新たに待避スペースの整備工事を実施した狭あい道路の路線数を計測 ＝待避スペースの整備工事を実施した狭あい道路の路線数を計測	11（路線）	（路線）	20（路線）

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
地域住宅計画に基づく事業	A15-001	住宅	一般	市川市	直接	市川市	-	-	公営住宅等ストック総合 改善事業	長寿命化・548戸	市川市	■	■	■	■	■	103		策定済
		屋上防水分																	
	A15-002	住宅	一般	市川市	直接	市川市	-	-	公営住宅等ストック総合 改善事業	長寿命化・595戸	市川市	■	■	■	■	■	227		策定済
		給排水設備分																	
	A15-003	住宅	一般	市川市	間接	個人	-	-	空き家再生等推進事業	除却事業・10戸	市川市	■	■	■	■		4		-
											小計						334		
住環境整備事業	A16-004	住宅	一般	市川市	間接	個人	-	-	中山参道地区街なみ環境 整備事業	住宅等修景	市川市	■					11		-
	A16-005	住宅	一般	市川市	直接	市	-	-	狭あい道路整備等促進事 業	狭あい道路拡幅、市内全域	市川市	■	■	■	■	■	59		-
		まごころ道路整備事業																	
	A16-006	住宅	一般	市川市	直接	市	-	-	狭あい道路整備等促進事 業	狭あい道路拡幅、市内全域	市川市	■	■	■	■	■	27		-
		狭あい道路拡幅（形態整備）																	

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
住環境整備事業	A16-007	住宅	一般	市川市	直接	市	-	-	狭あい道路整備等促進事業	狭あい道路拡幅、市内全域	市川市	■	■	■	■	■	8		-
	狭あい道路拡幅（測量）																		
	A16-008	住宅	一般	市川市	間接	個人	-	-	狭あい道路整備等促進事業	狭あい道路拡幅、市内全域	市川市	■	■	■	■	■	6		-
	狭あい道路拡幅（測量費助成）																		
											小計						111		
											合計						445		

C 效果促進事業

基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H28	H29	H30	H31	R02				
		一体的に実施することにより期待される効果																		
地域住宅計画に基づ く事業	C15-001	住宅	一般	市川市	直接	個人	-	-	マンション管理支援事業	マンション管理士派遣	市川市	■	■				1		-	
		地域住宅計画に基づく事業と一体的に実施することにより、老朽マンションの適切な管理・修繕等について、専門的見地から助言・相談を行うことで、居住環境の悪化を防ぐことができる。																		
	C15-002	住宅	一般	市川市	直接	市	-	-	街頭防犯カメラ設置事業	街頭防犯カメラ等設置	市川市	■					18		-	
		地域住宅計画に基づく事業と一体的に実施することにより、ハード面から犯罪の起こりにくい防犯まりづくりを推進することができ、住民が安全に安心して暮らせる住環境を確保することができる。																		
	C15-003	住宅	一般	市川市	間接	自治会	-	-	防犯灯設置費等補助事業	防犯灯設置費助成	市川市	■					40		-	
		地域住宅計画に基づく事業と一体的に実施することにより、住宅地等の防犯対策の強化を図ることで、住民が安全に安心して暮らせる住環境を確保することができる。																		
												小計						59		
											合計						59			

事 後 評 価

○ 事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
市川市街づくり部街づくり計画課において、事後評価を実施	令和3年度
	公表の方法
	市公式Webサイトに掲載

○ 事業効果の発現状況

定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	○ 老朽市営住宅の改修 老朽化対策工事について、排水管改修工事は、居住者の移転先（空き部屋）を確保することができず、実施することができなかった。なお、屋上防水改修については、防災・安全社会資本交付金を活用した外壁改修工事とあわせて実施した。 ○ 狭あい道路の解消 狭あい道路対策として、まごころ道路（待避スペース）の整備を実施したが、用地の確保が難しく、目標を下回った。なお、建築基準法第42条2項道路等の拡幅については、土地を寄付いただくために必要な支援や舗装整備を行った。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	

○ 特記事項（今後の方針等）

○ 老朽市営住宅の改修
排水管改修工事等の老朽化対策工事について、適切な施工方法の検討を行うとともに、工事の実施に必要な転居先（空き部屋）を計画的に確保できるように努め、老朽化対策を計画的にすすめることができるよう、順次対応する。

○ 狭あい道路の解消
狭あい道路については、引き続き、狭あい道路拡幅整備促進計画に基づき、建築基準法第42条2項道路等の拡幅に必要な支援を中心に行っていく。併せて、まごころ道路（待避スペース）の整備については、整備基準等の見直し等、事業の進め方について検討を行う。

○ 目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		目標値と実績値に差が出た要因
	目標値 / 実績値		
1	老朽化した市営住宅の改修割合		
	最 終 目標値	65（％）	老朽化した市営住宅の改修として、排水管工事の実施を計画していたが、工事を行うにあたり居住者の転居が必要となり、十分な転居先（空き居室）を確保することが困難であった。このため、老朽化対策工事が計画通り進捗しなかったもの。
	最 終 実績値	0（％）	
2	中山参道民間建築物等の修景実施割合		
	最 終 目標値	37（％）	
	最 終 実績値	37（％）	
3	待避スペースを整備した狭あい道路路線数		
	最 終 目標値	20（路線）	市民より、まごころ道路（待避スペース）整備事業の整備基準を満たす路線の要望が無かったことから、市側で現地調査を実施し、沿道地権者に事業協力を求めているが、用地を確保するに至らなかった。このため、まごころ道路（待避スペース）の整備が計画通り進捗しなかったもの。
	最 終 実績値	13（路線）	